

東日本大震災から10年 3.11に起きたことを再認識しよう！



2011年3月11日に起きた、東北地方太平洋沖地震による災害および福島第一原子力発電所事故のことを絶対に忘れてはなりません！！

東日本大震災は、東北地方を中心に12都道府県で約2万2000人の死者・行方不明者が発生し、建築物の全壊・半壊は合わせて40万4893戸、2021年2月現在の避難者数は約4万人が出るなど関東大震災に次ぐ2番目の被害が出た大災害となりました。

地震のあとに本当に恐ろしいことが起こってしまった。

地震から約1時間後に遡上高14～15mの津波に襲われました。東京電力福島第一原子力発電所は、1～5号機で全交流電源を喪失しました。原子炉が冷却できなくなり、1号炉・2号炉・3号炉で炉心溶融(メルトダウン)が発生。大量の放射性物質の漏洩を伴う重大な原子力事故に発展しました。この事故は国際原子力事象評価尺度で最悪のレベル7、チェルノブイリ原子力発電所事故と同等に位置づけられています。

原発再稼働反対の声を挙げていこう！

青年部として社会正義を貫き、平和と民主主義を守る闘いとして原発再稼働反対を掲げています。このような事故を二度と起こさず未来の子供達に平和で安心して暮らせる社会を手渡す責任があるからです。福島第一原発事故では、誰が責任をとったのでしょうか？ 原発事故という誰も経験したことの無い大事故は東京電力だけでなく、政府が責任を持って対応すべき問題です。しかし、政府は脱炭素社会の構築のために再び原子力発電の有効性をアピールしています。国が責任をとらないことは明らかです。犠牲になるのはいつも私たちであり、自らの命に関することですので、職場内で原発再稼働反対の議論を展開していこう！

原発のない社会を青年部員のでつくろう！